

平成28年5月12日(木) 21時35分

平成28年熊本地震災害への対応について（第11報）

— 救護班第5班帰着 —

田中正道医師を班長に9名(支部職員を含む)で編成された第5班は、本日15時57分に岡山駅に到着、16時30分に帰着報告を行った。

活動1日目は10時30分から16時、2・3日目は10時30分から20時まで、益城町総合体育館救護所のdERU内で101名の診療活動を行いました。災害発生から間もなく一か月、益城町医師会18施設中17施設が診療を再開、同体育館内に救護室スペース確保の工事や5月23日に避難者の引っ越しが予定されていることから、益城総合体育館dERUでの救護活動の需要はなくなると考えられます。

11日現在、本社は、救護班による活動は段階的に地元医療機関等へ引継ぎが行われていることから、5月中をめどに同所での活動を終了する予定としています。

今後の派遣予定

第5ブロックの医療救護班派遣計画では、5月20日(金)までは決定、以降については調整中となっています。

= こころのケア班派遣要員を決定 =

本社からの派遣要請により派遣する第7班は、3名の指導者と業務調整員1名の4名で編成、支援者へのこころのケア活動を行います。

■こころのケア指導者

- 東郷 和美(臨床心理士) 石倉 愛美(専任教師)
- 中野 佑美(医療社会事業司)

派遣期間 5月20日(金)～5月26日(木)



